

課・タイトル	L6 よていやしたことをはなす
ねらい	休みに何をするか、何をしたかを話すことができる。 旅行した人に旅行がどうだったか聞くことができる。

パート	L6-1 りょこします
できること	・休みの予定を聞いたり、言ったりすることができる。 ・簡単に理由を言うことができる。
場面設定	留学生のタンさんと日本人大学生の田中さんが、田中さんの部屋でお茶を飲みながら連休に何をするか話しています。田中さんは京都へ行ってお祭りを見るつもりです。タンさんは試験があるのでどこへも行きません。
場面会話	<p><b>用意するもの</b></p> <p>日本地図(東京、京都の位置がわかるもの)、京都の祭りの写真か絵、カレンダー(連休がある月)、「れんきゅう」のこたばカード、p.120<sup>1</sup>の「とおい」「ちかい」の絵カード</p> <p><b>指導のポイント</b></p> <p>・場面会話に入る前に、カレンダーを使って「れんきゅう(連休)」を導入し、こたばカードを出して文字でも確認させた後、貼っておきます。続いて、学習者に、今度の休みに何をするか、聞いてみます。その後、場面会話の1コマ目を見せ、学習者に「二人は何をしていますか」と問いかけます。学習者は先に休みの話をしてるので、場面会話の場面が容易に把握できるでしょう。学習者に「二人は、何を話していますか。」と問いかけると、「連休」「京都へ行きます。」という答えが返ってくると思います。</p> <p>・学習者の中には京都の位置を知らない人がいるかもしれないので、モデル会話全体を聞かせた後、日本地図で京都の位置を確認し、祭りの写真を見せるといいでしょう。</p> <p>・モデル会話を聞いてリピートし、演じて言えるようにする練習は、2コマ目までやったところで一区切りつけ、2回に分けるとスムーズに進めることができます。</p> <p>・2コマ目の絵を見せて何を言うか考えさせる際に、p.120<sup>1</sup>の「とおい」「ちかい」の絵カードを使って「とおい」のこたばの意味を示します。</p> <p>・3コマ目は、田中役の学習者には場面会話の絵のような明るい楽しそうな表情で「タンさんはどこか行きますか。」と言わせます。それに対し、タン役の学習者には手を左右にふって、残念そうな顔で「どこも行けません。」と言わせます。ジェスチャーと表情で「どこも行かない」というこたばの意味を表現させます。</p>
練習1	<p><b>用意するもの</b></p> <p>テキスト p.120<sup>1</sup>の形容詞の絵カード数組、い形容詞のフラッシュカード(表に「～いです(例:とおいです)」、裏に「～くないです(例:とおいくないです)」と書いたもの)数組</p> <p><b>い形容詞「～いですか」-「～いです」「～くないです」</b></p> <p><b>テキスト p.120<sup>1</sup></b></p> <p>L5-3 では味に関するい形容詞を練習しました。L6-1 では味以外のい形容詞を導入します。</p> <p>場面会話 2コマ目の絵を見せて、セリフを言わせます。その後セリフを示して、「とおいです」「とおいくないです」に注目させた後で、「とおい」の絵カードを見せてリピートさせます。続いて、「ちかい」の絵カードを見せて、リピートさせます。「とおい」「ちかい」の絵を交互に見せて、「とおい」「ちかい」が言えるようになったら、「いい」「わるい」、「ながい」「みじかい」、「おおい」「すくない」、「はやい」「おそい」、「あたらしい」「ふるい」と、意味が対立している形容詞をペアで覚えていきます。</p>

	<p>クラス全体で言う練習をした後、3、4人組にして、グループごとに絵カードを配布して、すらすら言えるように練習をします。</p> <p><b>テキスト p.120</b>①</p> <p>続いて、モデル会話の絵を見せて、会話をさせた後、フラッシュカードを使って形容詞「～いです」「～くないです」の言い換え練習をします。クラス全体で練習した後は、3人組にして、グループごとにフラッシュカードを配布して練習をします。すらすら言えるようになったら、次は1)～3)の絵を見て、代入練習をします。</p>
練習2	<p><b>用意するもの</b></p> <p>「どうしてですか。」「～から。」の文型カード</p> <p>「～から、～」</p> <p><b>テキスト p.121</b>②①</p> <p>場面会話4コマ目の絵を見せてセリフを言わせませす。その後セリフを見せて、「から」に注目させませす。続いて②①の絵を見せて、モデル会話の練習、1)～3)の代入練習をします。</p> <p><b>テキスト p.121</b>②③</p> <p>③では、「～。～から。」と、先に質問に答えてから、その理由を言う言い方を練習をします。③の絵を見て言う練習をした後、学習者同士で自分が行きたいところとその理由を聞いて答える練習をします。</p> <p><b>テキスト p.121</b>②④</p> <p>④では、「どうしてですか。」「～から。」のやりとりを練習をします。④の絵2枚を見せて、会話の流れを確認した後、学習者2名を前に出します。A役の学習者に「いっしょに帰りましょう。」とB役の学習者を誘わさせませす。Bが「すみません。これから空港へ行きます。」と言った後、AはBに、理由を知りたいという表情と声のトーンで「どうしてですか。」と尋ねませす。Bが「友だちが日本に来ませすから。」と言うのを聞いたら、Aは大きくうなずいて「わかった」という表情をします。「そうですね。わかりませす。」と言わせてもいいでしよ。会話の導入ができたら、「どうしませす。」「～から。」の文型カードを貼って、文字で確認させませす。その後、2人組にして④の会話の練習をさせませす。</p> <p>④の会話の練習をした後、「どうしてですか。」「～から。」の別の例を示して、学習者同士に練習をさせてもいいでしよ。</p> <p>例)A: 土曜日いっしょに映画を見に行きませせんか。</p> <p>B: すみませせん。会社へ行きます。</p> <p>A: どうしてですか。</p> <p>B: 仕事／ミーティングがござるから。</p>
練習3	<p><b>用意するもの</b></p> <p>「どこも～ませせん」「だれも～ませせん」「なにも～ませせん」の文型カード、大きめの箱</p> <p>「だれも～ませせん」「なにも～ませせん」「どこも～ませせん」</p> <p><b>テキスト p.122</b>③</p> <p>場面会話の3コマ目を見せて、会話をさせた後、セリフを出して、「どこも～ませせん」に注目させ、「どこも～ませせん」の文型カードを貼ります。続いて、p.122③のモデル会話の絵を見せて会話をさせ、「だれも～ませせん」の文型カードを貼ります。</p> <p><b>テキスト p.122</b>③①</p> <p>①の絵を見せた後、学習者2名を前に出します。絵と同様に、B役の学習者に空の箱を持たさせませす。A</p>

	<p>役の学習者に「大きい箱ですね。中に何かありますか。」と聞かせ、Bに箱を開けて中を見せながら、「いいえ、何もありません。」と答えさせます。「なにも～ません」の句型カードを貼って文字で確認させます。その後、2人組にして、会話を練習させます。</p> <p><b>テキスト p.122</b>③②</p> <p>②の絵を見せて、①と同様に学習者2名を出して、A、Bの会話をさせた後、「どこも～ません」の句型カードを貼ります。</p>
<b>はなしましょう</b>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>なし</p> <p><b>できますか？</b></p> <p>場面会話とはほぼ同じです。会社の休憩時間に、サラさんが井上さんに連休に何をするか聞きます。井上さんは登山をしに長野へ行くと答えます。サラさんは長野がどこかわからないので、井上さんに遠いかどうか聞きます。井上さんは新幹線で東京から1時間半ぐらいだと答えます。続けて、井上さんはサラさんの予定を聞きますが、サラさんはどこも行かないで、友だちに借りたビデオを見ると答えます。</p> <p><b>じゆうにはなしましょう</b></p> <p>学習者を2人組にして、今度の日曜日に何をするか予定を話し合わせます。相手を変えて練習させたり、聞いた相手の予定をクラス全体に紹介させたりするといいでしょ。</p>

<b>パート</b>	<b>L6-2 きょうとはどんなどころですか</b>
<b>できること</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行先がどんなどころか聞いたり、言ったりすることができる。</li> <li>・旅行先の名産品を簡単に紹介することができる。</li> </ul>
<b>場面設定</b>	L6-1の場面会話の続きです。タンさんは田中さんが京都へ行くと聞き、京都がどんなどころか聞いています。田中さんは京都の写真集を見せながら、京都の寺や食べ物を紹介します。
<b>場面会話</b>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>京都の写真集、旅行雑誌など(清水寺、東寺、金閣寺、庭園の写真が掲載されているもの)</p> <p><b>指導のポイント</b></p> <p>・場面会話に入る前に、学習者の国の観光地はどこか少し聞き、日本の観光地で知っているところはどこか聞きます。そして、1コマ目に出てくる清水寺や東寺の五重塔、庭園の写真などを軽く見せます。京都がイメージできるようにしてから、場面会話に入るといいでしょ。この導入は5分程度で終わらせます。</p>
<b>練習1</b>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>テキスト p.126①の絵カード数組、「ゆうめいな」「きれいな」のことばカード</p> <p>「な形容詞-な」<b>名詞</b></p> <p><b>テキスト p.126</b>①</p> <p>場面会話の2コマ目、3コマ目を見せて、会話させた後、セリフを見せます。「ゆうめいなおてらです」「きれいなにわです」に注目させ、「ゆうめいな」「きれいな」のことばカードを貼ります。</p> <p>続いて、「みなさんの国のゆうめいなところはどこですか。」「ゆうめいな人はだれですか。」「きれいなところはどこですか。」と学習者に聞きます。数名の答えを聞いたのち、テキスト p.126①の絵カードを見せて、「元気な人」「親切な人」と順に、な形容詞を導入していきます。語末が「な」になることを確認します。一度に全部出すのではなく、数語ずつ導入し、絵カードを見て、な形容詞が言えるようにします。な形容詞の導</p>

	<p>入と、絵カードを見て言う練習が一通り終わったら、3、4名のグループにして、絵カードを配布し、学習者同士で練習をさせます。</p> <p><b>テキスト p.126</b>①</p> <p>モデル会話の絵を見て、会話をさせ、1)、2)の代入練習をします。その後で、パソコン、スマホ、タブレットなどで、自分の国の有名な人物や場所、料理の写真を見せて、「これは～です。～な～です。」のパターンを使って、簡単に紹介をさせます。</p>
<p><b>練習2</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>テキスト p.1261 の「げんきな人」「しんせつな人」の絵カード、金閣寺の写真</p> <p>「どんな<b>名詞</b>ですか。」-「<b>い形容詞-い</b> <b>名詞</b>です。」/「<b>な形容詞-な</b> <b>名詞</b>です。」</p> <p><b>テキスト p.127</b>②</p> <p>場面会話1コマ目を見せて会話を言わせた後、セリフを出し、「どんなところですか。」「ふるいまちです。」に注目させます。さらに、金閣寺の写真を見せて、「ゆうめいなお寺です。」と言わせます。続いて、テキスト p.126①のモデル会話の絵を見せて、「ゆうめいな人です。」と言わせます。その後、学習者の中から一人選んで、他の学習者に「〇〇さんは、どんな人ですか。」と聞きます。いろいろな答えが出たら、次は「げんきな人」「しんせつな人」の絵カードを見せて「この人は？」と聞き、「元気な人です。」「親切な人です。」と答えさせます。その後で、p.127②のモデル会話の絵を見せて、会話をさせます。続いて、1)、2)の代入練習をします。</p> <p><b>テキスト p.127</b>②</p> <p>②の絵を見て、A、Bの会話をします。会話ができるようになったら、下記のような練習をするといでしょう。学習者全員に自分が探す時計の絵をかかせて、1か所に集めます。学習者を2人組にします。Aは自分の時計を探している役です。BはAにどんな時計か聞いて、該当する時計の絵を探し、「〇〇さん、これですか？」と聞きます。A、Bの役を交替して練習します。</p>
<p><b>練習3</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>日本で有名な人物・グループ・場所などの写真(学習者の国でもよく知られていると思われるものと、あまり知られていないと思われるもの)数枚、「げんきです」「げんきじゃありません」のこぼれカード、「～です」「～じゃありません」の文型カード、p.126①のな形容詞のフラッシュカード数組(表に「～です(例:げんきです)」、裏に「～じゃありません(例:げんきじゃありません)」と書いたもの)</p> <p>「<b>な形容詞</b>じゃありません」</p> <p><b>テキスト p.127</b>③</p> <p>場面会話4コマ目を見せて会話を言わせた後、セリフを見せます。「ゆうめいじゃありません。」の「じゃありません」に注目させ、「～じゃありません」の文型カードを貼ります。続いて、日本で有名な人物の写真を見せて、「この人は日本で有名です。みなさんの国ではどうですか。」と聞いて、「有名です。」「有名じゃありません」の練習をさせます。続いて、「みなさん、今日は元気ですか。」と聞きます。テキスト p.127③のモデル会話の絵を見せて、会話をさせます。そして、「げんきです」「げんきじゃありません」のこぼれカードを貼ります。その後、フラッシュカードを使って、な形容詞「～です」を「～じゃありません」に言い換える練習をします。全体で練習した後、3、4名のグループに分けてフラッシュカードを配布して、グループで練習をさせます。変換ができるようになったら、1)、2)の絵を見せて、代入練習をします。</p>
<p><b>練習4</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p>

	<p>「とても～」「ちょっと～」「あまり～ない」の文型カード  「とても～」「ちょっと～」「あまり～ない」  <b>テキスト p.1284</b>①</p> <p>場面会話4コマ目を見せて会話を言わせたら、セリフを見せて、「あまりゆめいじゃありません。」の「あまり」「ゆめいじゃありません」に注目させます。学習者に「とても有名な場所はどこですか。」「ちょっと有名な場所は？」「あまり有名じゃない場所は？」と問いかけます。続いて、テキストp.1284のモデル会話の絵を見せて、会話をさせ、寒さの程度を確認します。「とても～」「ちょっと～」「あまり～ない」のこぼカードを貼ります。その後、①の絵を見せて会話をし、学習者同士で持ち物について、「その○○、いいですか。」のパターンを使ってお互いに聞き合います。</p>
<b>はなしましょう</b>	<p><b>用意するもの</b>  名古屋城、みそかつの写真</p> <p><b>できますか？</b></p> <p>場面会話と同じ流れです。リさんと中村さんが会社の休憩時間にお茶を飲みながら話しています。リさんは来週名古屋に出張する予定ですが、名古屋はよく知りません。そこで中村さんに名古屋はどんなところか聞きます。中村さんは名古屋にはお城があると言って、スマホで名古屋城の写真を見せてくれます。それを見て、リさんは有名な城だと言います。続いて、中村さんは美術館の写真を見せます。リさんはそれを見て、きれいな建物だと言います。中村さんは、美術館で、あまり有名ではないが、とてもきれいだと言います。さらに、中村さんは、名古屋にはおいしい食べ物があると言って、みそかつを紹介します。</p> <p>あとで、名古屋城、みそかつについて、写真を見せて紹介してもいいでしょう。</p> <p><b>これもできますか？</b></p> <p>AとBは金沢のポスターを見て、話しています。AがBに「これはどこか」と聞くと、Bは金沢だと答え、有名な庭があること、海が近いので魚がおいしいことを紹介します。Aが金沢は遠いかと聞くと、Bは遠いが新幹線があるから大変ではないと答えます。そして、ポスターの絵は金沢駅だと言います。</p>

<b>パート</b>	<b>L6-3 りょうはどうでしたか</b>
<b>できること</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行先で何をしたら聞いた、言ったりすることができる。</li> <li>・旅行の感想を聞いた、言ったりすることができる。</li> </ul>
<b>場面設定</b>	京都に行っていた田中さんが旅行から帰ってきました。タンさんと田中さんはちょうどアパートの前で会います。ベトナム人留学生は日本人大学生に旅行はどうだったか聞きます。日本人大学生は、京都で見た祭りの写真を見せ、タンさんにお土産を渡します。
<b>場面会話</b>	<p><b>用意するもの</b>  デジカメまたはスマホの実物か写真か絵、お土産用の袋（袋に抹茶の絵をかいて貼っておく）</p> <p><b>指導のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行の感想を伝えることがこの課のねらいです。一つひとつの発話は短いですが、表情や声のトーンに気をつけて、気持ちを込めて話すように指導します。</li> <li>・5コマ目のお土産を渡すときは、両手で渡して、両手で受け取るように指導してください。</li> </ul>
<b>練習1</b>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>い形容詞過去肯定形のフラッシュカード数組(表に「～いです(例:たのしいです)」、裏に「～かったです</p>

	<p>(例:たのしかったです)と書いたもの)、い形容詞過去否定形のフラッシュカード(表に「～くないです(例:たのしくないです)」、裏に「～なかったです(例:たのしくなかったです)と書いたもの)、「たのしいです」「たのしくないです」「たのしかったです」「たのしくなかったです」のこぼカード、「いいです」「よくないです」「よかったです」「よくなかったです」のこぼカード</p> <p>「<b>い形容詞過去肯定形-かった</b>です。」「<b>い形容詞過去否定形-くなかった</b>です。」</p> <p><b>テキスト p.132</b>①①</p> <p>場面会話の1コマ目、2コマ目の絵を見せて会話をさせます。セリフを見せて、「たのしかったです」「よかったです」「よくなかったです」に注目させます。続いて、学習者に「きのうの晩御飯は何を食べましたか。おいしかったですか。」と聞きます。それぞれの答えを聞いた後、p.132①①のモデル会話の絵を見せて会話をします。「たのしいです」「たのしかったです」「たのしくないです」「たのしくなかったです」のこぼカードを貼って、活用を確認します。その後、フラッシュカードを使って練習をします。始めに、過去肯定形フラッシュカードの表の「～いです」を見せて「～かったです」と言わせてから、カードの裏を見せて文字で確認させます。続いて、過去否定形フラッシュカードの表の「～くないです」を見せて「～なかったです」と言わせてから、カードの裏を見せて文字で確認させます。クラス全体で練習をしたら、3、4名のグループに分けて、フラッシュカードを配布して練習をさせます。言い換えができるようになったら、1)～3)の代入練習をします。</p> <p>最後に、場面会話の1コマ目、2コマ目の会話を言わせて、「いいです」「よくないです」「よかったです」「よくなかったです」のこぼカードを貼って、活用に注目させて、「いいです」の活用が他のい形容詞と異なることを確認させます。</p>
<p><b>練習2</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>な形容詞過去肯定形フラッシュカード(表に「～です(例:げんきです)」、裏に「～でした(例:元気でした)と書いたもの)数組、な形容詞過去否定形フラッシュカード(表に「～じゃないです(例:げんきじゃないです)」、裏に「～じゃなかったです(例:げんきじゃなかったです)と書いたもの)数組、p.127③①のモデル会話の絵、「げんきです」「げんきじゃありません」「げんでした」「げんきじゃなかったです」のこぼカード</p> <p>「<b>な形容詞</b>でした。」「<b>な形容詞</b>じゃありませんでした。」</p> <p><b>テキスト p.133</b>①①～③</p> <p>場面会話の4コマ目の絵を見せて会話をさせます。セリフを見せて、「にぎやかでした」に注目させます。続いて、学習者に「日曜日、どこか行きましたか。」と聞き、行ったという学生に、「どこへ行きましたか。」「にぎやかでしたか。」と聞きます。その後、p.127③①のモデル会話の絵を見せて、会話をもう一度やってから、「みなさんは元気ですか。」「きのうはどうでしたか。」と聞きます。学習者に「元気でした。」「元気じゃありませんでした。」と答えさせてから、「げんきです」「げんきじゃありません」「げんでした」「げんきじゃなかったです」のこぼカードを貼って、活用を確認させます。</p> <p>その後、フラッシュカードを使って練習をします。始めに、過去肯定形フラッシュカードの表の「～です」を見せて「～でした」と言わせてから、カードの裏を見せて文字で確認させます。続いて、過去否定形フラッシュカードの表の「～じゃないです」を見せて「～じゃなかったです」と言わせてから、裏を見せて文字で確認させます。クラス全体で練習をしたら、3、4名のグループに分けて、フラッシュカードを配布して練習をさせます。言い換えができるようになったら、1)～3)の代入練習をします。</p>
<p><b>練習3</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>「～はどうですか」「～はどうでしたか」の文型カード</p>

	<p>「どうですか。」-「<b>形容詞</b>です。」/「どうでしたか。」-「<b>形容詞</b>でした。」</p> <p><b>テキスト p.134</b><sup>3</sup><sup>③④</sup></p> <p>テキスト上は「どうですか」から練習をするようになっていますが、ここでは、場面会話からの流れで、「どうでしたか」から入る案を紹介します。どちらから入っても差し支えありません。</p> <p>場面会話の1コマ目を見せて会話を言わせませす。セリフを見せて、「どうでしたか。」に注目させませす。続いて、学習者に「きのうはどうでしたか。いそがしかったですか。ひまでしたか。」と聞きます。答えを聞いて、それを板書し、答えの板書の上部に「～はどうでしたか」の句型カードを貼ります。その後、 p.134<sup>3</sup><sup>③④</sup>の絵を見せて、会話をします。</p> <p><b>テキスト p.134</b><sup>3</sup><sup>①②</sup></p> <p>次に、p.134<sup>3</sup>のモデル会話の絵を見せて、「では、みなさん、日本語の勉強はどうですか。おもしろいですか。おもしろくないですか。」と聞きます。学習者の答えを聞いて、それを板書します。続けて「そうですね。簡単ですか。難しいですか。どうですか。」と聞きます。学習者の答えを板書します。そして、答えの板書の上部に「どうですか」の文字カードを貼ります。その後、①②の絵を見せて、会話をします。</p>
<p><b>はなしましょう</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>日本地図、雪祭りの写真か絵、お土産用の箱</p> <p><b>できますか？</b></p> <p>りさんと中村さんが会社で休憩時間に話しています。りさんは、北海道へ旅行に行ってきた中村さんに旅行はどうだったか聞きます。中村さんは楽しかったが、とても寒かったと答えます。そして、雪まつりで写真を撮ったと言い、りさんに見せませす。りさんは雪像がとても大きいのでびっくりします。中村さんはとてもきれいだったと言い、お土産をりさんに渡します。</p> <p>4コマの絵を見せてどんな会話をするか考えさせせる際に、日本地図で北海道・札幌を示し、雪祭りの写真か絵を見せて紹介します。</p> <p><b>じゆうにはなしましょう</b></p> <p>週末したことを話します。学習者同士で互いに、何をしたか、どうだったかを聞いて、話してください。</p>
<p><b>アクティビティ</b></p> <p>—</p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>世界と日本の観光地の写真(テキストに出ているもの)</p> <p><b>はなしましょう</b></p> <p>p.137の巖島神社と原爆ドームの写真を見せて、モデルの会話をさせませす。その後、他の観光地の写真や絵を貼ります。学習者を2人組にして、それぞれどこに行きたいか、そこはどんなところかを話し合わせませす。</p> <p><b>しょうかいしましょう</b></p> <p>「はなしましょう」で話し合ったことをもとに、自分が行ったところについて、どんなところかを発表させませす。20分ぐらい準備の時間をとって、話すことや、話すときに使う写真や絵を準備させませす。発表の方法はパソコンやタブレットを使ってもいいでしょう。</p> <p>準備ができたら、一人ずつ発表します。発表が終わったら、「質問がありますか」と言って質問を受けるようにします。発表と質問の時間を合わせて、一人5分程度で交替します。</p>

よみましょう	<p><b>用意するもの</b></p> <p>箱根の写真</p> <p><b>指導のポイント</b></p> <p>まず一人で読んで質問の答えを考えます。その後、2、3人のグループで、本文をもとに自分たちが読み取った行程の図を描かせます。発表では、その図を使って質問の答えを説明させます。</p> <p>発表の後で、箱根の写真を見せて、簡単に紹介します。</p>
かきましょう	<p><b>指導のポイント</b></p> <p>「よみましょう」の活動が終わったら、日記を書きます。学習者を2人組にします。書く前に互いに「昨日何をしたか」「どうだったか」を質問し合います。質問し合い、それに答える過程で、自分が書くことを明確にすることがねらいです。質問し合った後、各々日記を書きます。書き終わったら、日記を交換して、互いに読み合います。始めに聞いたことが書けているかどうか確認します。よくわからないところがあったら、それについて質問します。文字やことば、文型について、修正した方がいいと思うところがあったら、それも伝えて、いっしょに考えます。その話し合いをもとに、内容を書き足したり、修正したりして、書き直します。全員が書けたら、クラス全体に読んで発表します。聞いた学習者は、簡単に感想を言ったり、質問をしたりします。</p>